

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- | |
|--------------|
| 1 一括質問一括答弁方式 |
| 2 一問一答方式 |

質問件名 不登校やディスレクシアの子どもたちも活用できる GIGA スクール構想を

質問要旨

GIGA スクール構想の一環として、5月の補正予算第二号により、小平市立小中学校児童・生徒に一人一台のタブレット端末(以下端末と呼ぶ)購入の予算が決した。端末を年度末までに調達予定であり、対応の時間は短い。不備がないよう、特に最も恩恵を受けられるディスレクシア(ここでは読み書きに困難を抱えている状態を指す)や不登校の児童・生徒が最大限活用できる仕組みとなることを強く要望する。すでに検討は進んでいるものと考え、小平市における GIGA スクール構想全般について質問する。

1. 端末の選定、ICT 環境、運用の検討はどの程度進んでいるか。いつまでに整える予定か。
2. 短期間で単純な入札では、低性能端末を買わざるを得なくなるリスクがある。そのリスクをどう回避するか。
3. 定常的に発生する維持管理運営等の年間費用と、端末更新時期の費用は、どう想定しているか。
4. 今後利用者が負担する費用発生の可能性はあるか。その内容は。
5. 「子どもたちの ICT 機器充実のため」というような、特定目的のふるさと納税を設置してはどうか。
6. ディスレクシアや不登校の児童・生徒が、今後整備される ICT 環境を活用できるよう、どう検討しているか。
7. 運用するにあたり、ディスレクシアや不登校の当事者の意見反映が不可欠と考えるが、どうするか。
8. これを機にデジ教科書の一括ダウンロード申請を行い、どの児童・生徒も自由にデジ教科書を選択できるようにしてはどうか。
9. GIGA スクール構想が進む先には個別最適化がある。個別最適化は良い面もある一方、学び合い、助け合う、という互助の精神育成の面で懸念があるが、これをどう捉えているか。
10. 情報の偏りを避けるため、端末にフィルターを設定する場合はオプトアウト方式が好ましいと考えるが、どうか。
11. 端末を携帯してもらえれば、児童・生徒から率直な意見を直接集めることができる。匿名で、相談や、市政に関するアンケートなど、児童・生徒の悩み事や意見を集めるアプリを開発し、端末に導入してはどうか。
12. 新型コロナウイルス感染症対策等に対応したリモート授業(以下リモート授業と呼ぶ)の想定に関して、端末が配られる前に緊急事態宣言の再実施など、登校できない状況が再発した場合、どう対応するか。
13. リモート授業の想定に関して、出席の取り扱いなど、リモート授業における法律上の課題とその対応は。
14. リモート授業の想定に関して、ディスレクシアの児童・生徒はデジ教科書等を見ながら先生の話聞くこともあり、紙の教科書を併用する場合と比して、一台の端末では困難さがあると予想される。どう対応するか。
15. リモート授業の想定に関して、生徒の利便性や回線切断への対応のため、授業は録画し、いつでも再生できるようにすると良いと思われるが、どう考えるか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 2 年 5 月 22 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 安竹 洋平

受付番号【 】

--	--	--	--